



データサイエンス と現代社会

すでにAIや情報技術、インターネットなどは日常の生活においても不可欠な存在となりつつある。今後ますます重要度を増すと思われるデータサイエンスを中心とする情報技術と現代社会のかかわりについて、第一人者の先生方のお話を聞くことにより、さらなる理解を深めたい。

2025年
11月29日 土
14:00～17:15

関西大学千里山キャンパス
以文館4階「セミナースペース」

Program

[総合司会] **二階堂 善弘** (東西学術研究所所長／文学部教授)

[開会挨拶] **小西 秀樹** (関西大学副学長)

基調講演

[講師] **宇陀 則彦**

(筑波大学 図書館情報メディア系教授)

[テーマ] **新しい社会記憶システムに向けて
一ボール・オトレの夢一**

講演①

[講師] **高井 啓二**

(関西大学 ビジネスデータサイエンス学部教授)

[テーマ] **ビジネスデータサイエンスとは何か**

講演②

[講師] **根津 洸希** (新潟大学 法学部講師)

[テーマ] **文系研究者から見た、
データサイエンスの長所と短所**

[閉会挨拶] **二階堂 善弘** (東西学術研究所所長／文学部教授)

無料 事前申込制

オンライン(ZOOM)及び対面によるハイブリッド方式

申込フォーム [締切なし]

<https://forms.office.com/r/mttTjB4gJm>

申込フォームよりお申込下さい。個人情報につきましては、本学個人情報管理規程に則り適正に管理し今後のお知らせに使用させていただきます。

なお、申込フォームからお申込ができない方はハガキまたはFAX、メールにて氏名(ふりがな)、住所、電話番号、参加人数を明記しお申込下さい。



お問合せ先



関西大学

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 E-mail touzaiken@ml.kandai.jp
Tel 06-6368-0329 Fax 06-6339-7721

最新情報
発信中!

ぜひフォローを
お願いします。



@touzaiken.keiseiken.hogakuken
[東西研・経政研・法研]関西大学3研究所合同



@KU_kenkyusho
関西大学文系3研究所



データサイエンスと現代社会

基調講演

profile **宇陀 則彦** (筑波大学 図書館情報メディア系教授)

附属図書館研究開発室室員。2022年度より情報学学位プログラムリーダー。2005年から2019年まで附属図書館電子図書館システムTULIPSの設計・導入に従事。2010年度から2013年度まで文部科学省学術調査官。その他、国立情報学研究所、国立国会図書館、国立歴史民俗博物館、国立国文学研究資料館、国立民族学博物館等の客員教員、研究員、委員を歴任。



講演概要 **新しい社会記憶システムに向けて 一ポール・オトレの夢一**

この世界には、個人の知識があり、社会の知識、ひいては人類全体の知識がある。図書館、博物館、文書館には膨大なアーカイブ(記憶資源)があり、さらには、まだ発見されていない知識もどこかに眠っている。社会と人とは常に相互作用をしており動的に知識が

入れ替わりながら変化する。ポール・オトレはかつて世界目録の構築を夢みた。人が持つ知識、社会が持つ知識を有機的に連結させて取り出せる新しい社会記憶システムについて考える。

講演①

profile **高井 啓二** (関西大学 ビジネスデータサイエンス学部教授)

大阪大学人間科学部卒業後、同大学大学院基礎工学研究科前期課程に進学し、ファイナンスの研究を行った。同大学院後期博士課程に進学し、統計科学を研究した。現在の研究テーマは、消費者行動論と、社会科学のためのデータ解析理論の開発。



講演概要 **ビジネスデータサイエンスとは何か**

本講演では「ビジネスデータサイエンスとは何か」をテーマに、ビジネスにおけるデータサイエンスの役割

を考えます。購買行動分析の実例を交え、学問的背景と実社会への応用の両面を紹介します。

講演②

profile **根津 洸希** (新潟大学 法学部講師)

専門は刑事法学。信州大学先鋭領域融合研究群社会基盤研究所の特任助教を兼務。AIやロボットが引き起こす法的問題、特に刑事責任に関する研究に注力しており、関連する論文を多数執筆。



講演概要 **文系研究者から見た、データサイエンスの長所と短所**

近時のAIの発展は著しいものがあります。そのAIの仕組みとして重要なのが、統計的処理などを含むデータサイエンスです。「AIは便利なんだろうけど、正直、複雑な数式や計算はわからない...」、そんな不安

に対し、典型的な文系研究者である私が、数学的・統計学的な知識を用いることなくデータサイエンスの長所と短所、そして「AIとの付き合い方」についてお話したいと思います。